



まえばし保育ネットワークと「大地」

前橋市私立保育園長連絡協議会

会長 楯 保 幸

(幼保連携型認定こども園相愛館園長)

私たち私立保育園長連絡協議会（私立保育園27園、幼保連携型認定こども園15園）は、子ども一人ひとりが個性を生かし、それぞれの幸福を追求する社会の実現と質の高い保育・教育の提供に努めています。

核家族化や少子化が進み、地域における子育て支援機能の低下が問題となっていた平成18年にすべての園が加入して「まえばし保育ネットワーク」を設立しました。保育園の団体がNPO法人を作ることは、全国的に珍しいことでした。

まず、保育士不足の解消のため保育士復帰支援講座を開催しました。また、前橋プラザ元気21での子育て支援施設の企画に参加し、プレイルーム・親子元気ルームの運営を市から委託されました。今年で10周年を迎えましたが、多くの方々に楽しく安全にご利用いただいております。平成23年度から「木育」にも取り組み、「木育エキスパートの育成講座」や「森のほいくえん」「森林総研との共同研究」等の事業を実施しています。今後も地域における子育て環境の充実を図るため市と協力し、子育て中の親が感じる精神的負担を軽減するとともに、子どもたちの健全な成長を見守っていくことを事業の柱としてNPOの活動を継続したいと考えています。

平成27年度から子ども・子育て支援新制度が始まりました。現在、前橋市には保育園、幼稚園、幼保連携型認定こども園、幼稚園型認定こども園等があります。平成28年には、前橋ビジョン「めぶく」に共感し、前橋市私立幼稚園・認定こども園協会とこども施設の連絡会「大地」を設立しました。保育園、幼稚園、認定こども園の枠を越えて各園が互いに交流し学びあいながら、より良い保育・教育を目指しています。

前橋ビジョン「めぶく」から、

わたしたちは、この地の芽吹きのために、
未来に希望の森を見るために、
厳しくも優しい風になろう。
慈しみの雨になろう。
そして、なによりも熱い太陽になろう。

Where good things grow.

きっと、芽ぶく。
前橋の大地の下にはたくさんの種が、そのときを待っている。

